

活動報告

| | |
|------------|--|
| 団体名 | NPO 法人 絆 JAPAN |
| 活動名 | 被災した、農業及び小規模自営業再生のための活動 |
| 活動期間 | 2019/11/01～2020/4/20 |
| 活動の成果 | <p>今回の被災地域は農地が多く、しかも秋の収穫前の災害だったため多くの農家が1年分収入のほとんどを失うという悲惨な状態にあり、離農を選択する方も居るなど地域産業の衰退の危機に瀕していた。その中で地域の有志や被災者自らがチームを結成して、被災者支援や復旧活動を推進して、共に活動を進めているうちに、事業再開する方が随時増えていき地域に戻る動きが加速した。当団体の特性を生かし、重機による支援活動は、オペレーターの熟練度専門性が発揮された。また、湿地ブルドーザーやウッドチップパーなどの数少ない重機の手配、建築土木の専門家がメンバーに居ることも巧く機能した。しかし、飲食店・小規模事業者の中には廃業したり別の地域に移転する方もあり、効果的な支援が出来ていないと感じた。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、仮設住宅団地でのコミュニティ形成や心の復興支援等が途中で中断せざる事態になり、特に一人暮らしの方や高齢者のみの家庭のケアが課題になっている。被災したイチゴハウスは、植え替えをしてこの春にイチゴ狩りや出荷することができた。例年より減収ではあるが、復活したことは良かった。リンゴ農家も被災園地の選定作業は遅れはしたが無事に終わり、そして開花を迎え秋の収穫が期待できるまでになった。多くの支援団体が。新型コロナの影響で撤退や自粛する中で、ピンポイントで活動を続けることによって、事業再開した事業者もあり、今後も継続支援を進めます。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | <p>毎年のように全国各地で災害に見舞われていて、多くの方が被害に遭われています。私たちが災害支援活動をさせていただけるのも、赤い羽根共同募金に寄附をしてくださる方々に支えていただいているからです。これからも微力ではありますが、災害支援活動を続けてまいります。寄附をくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。そして今後もよろしく願いいたします</p> |

(活動のようす)

